学内研修　受け入れ協力要請概要

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の形成を推進する文部科学省の事業です。北海道大学では「物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム」（以下、「本プログラム」という。）が平成25年度より複合領域型（物質）に採択され、物質複合領域のリーダー育成を行うことになりました。本プログラムを運営するに当たり、「学内研修」に協力し、プログラム生を受け入れて頂けるよう、是非ご協力の程、よろしくお願いいたします。

【学内研修について】

リーディングプログラム生が、博士論文研究に関連した研究、あるいはQE1やQE2の研究提案のため、学内研究室にて新しい専門的知識や技術の習得を支援することを目的としています。つぎの3つのコースがあります。

1. 共同研究コース

博士論文研究を推進する上で他の研究室と共同研究を希望する場合に利用できる。

1. QE１・QE2サポートコース

QE1またはQE2の研究提案をするために、数学系以外の他の研究室で専門的知識の習得を希望する場合に利用できる。

1. 数学研究室コース

博士論文に関連した数理連携研究やQE１またはQE2の研究提案のため、数学研究室にて自身の研究分野に関係する数理的知識や計算法の習得を希望する場合に利用できる。

プログラム生は、2週間～2ヶ月程度の期間、学内の研究室に移籍し、移籍先研究室が提供する教育・研究の指導を受けます。ただし、数学研究室コースはセミナー形式の教育・研究指導であり、研究室の移籍はありません。移籍先研究室は学内に限るものとし、研究分野や研究内容は問わず、異分野ラボビジットで訪問した研究室と同じでも構いません。学内研修の終了後、QE１・QE2サポートコース以外でポイントが必要なプログラム生は報告書の提出義務があります。

【協力条件】

下記を全て満たす研究室。

１．物質複合領域のリーダー育成を目的として、プログラム生を責任もって指導できる学内の研究室

２．本プログラムの「学内研修」について理解し、全面的に協力して頂ける研究室

【支援内容】

１．QE１・QE2サポートコースにプログラム生を受け入れた研究室に限り、一研究室あたり、修士課程（本プログラム対象5専攻のみ）又は博士後期課程学生のRA経費を5万円を上限として助成させて頂きます（2名受入の場合は倍額となります）。業務内容は「学内研修」の準備、実験補助、実験に関する相談、QEアドバイザーの補助、報告書作成協力などの研究補助です。過去の「異分野ラボビジット」のアンケートで、「RA学生の協力がなかった」というような意見もありますので、RA学生の選考には考慮ください。

【注意事項】

プログラム生を実験に従事させるに当たり、必要な導入教育・安全教育の実施をお願いいたします。また、必要に応じて学内あるいは部局内の教育訓練（放射性同位体、X線、遺伝子組換え実験など）に参加するよう指導願います。

【申込方法・提出先】

１． 学内研修受け入れ協力申込書は所定様式（電子ファイル）を次のURLからダウンロードし、作成してください。

https://phdiscover.jp/alp/documents

２．提出先

申込書に必要事項を書き込み、リーディングプログラム事務局までご提出ください。。電子ファイル提出の際は代表教員の先生より直接事務局にメール提出して頂きますようお願いいたします。その場合は、直筆サイン・押印がなくても構いません。

リーディングプログラム事務局　（学内便番号9）

北海道大学大学院理学研究院化学部門内（理学部7号館1階1-06室）

TEL: 011-706-3359, FAX: 011-706-3603　 E-mail: [leading@sci.hokudai.ac.jp](mailto:leading@sci.hokudai.ac.jp)

３．期限：年度末近くの申請の場合は，RA採用手続きが難しい場合がありますので，申請前にご相談ください。

【学内研修に関する問い合わせ先】

リーディングプログラム事務局

理学部7号館1階1-06室

TEL：011-706-3359

E-mail： leading@sci.hokudai.ac.jp